



总主编：聂中华

日语高效阅读

(一)

主 编：张晓东 副主编：王银芳



大连理工大学出版社

日语高效阅读

总主编：聂中华

(一)

主 编：张晓东

副主编：王银芳

大连理工大学出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

日语高效阅读/聂中华等编著—大连: 大连理工大学出版社, 2008.12
ISBN978-7-5611-4252-3

I. 日 II. 聂 III. 日语—阅读—高等学校—教学参考资料
IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 101549 号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023

发行: 0411-84708842 传真: 0411-84701466 邮购: 0411-84703636

E-mail: dutp@dutp.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连图腾印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 140mm×203mm 印张: 7 字数: 205 千字

印数: 1—5000

2008 年 12 月第 1 版 2008 年 12 月第 1 次印刷

责任编辑: 王佳玉 宋锦绣 责任校对: 海洋

封面设计: 季强

ISBN978-7-5611-4252-3

定价: 18.80 元

前言

读书的方式有两种：一是静心读，二是休闲读。

静心读就是静下心来静静的读。古时的文人骚客每每在读重要的书籍之前都要沐浴更衣。表面上看这只是一种仪式，但其真正的作用就是为了求得心静。

——举行仪式表示诚意和诚意。一个人如果诚心诚意的去读书，心自然就会静下来。

——经过沐浴更衣，身体就放松了，身体放松了心就更容易静下来。

心静下来，读书就开始了。

心静下来，书就能读出味道来。

书只有读出味道来，书才算读好。

但是，人不能总是这样静心的去读书。

一方面这样读书很辛苦；另一方面对现今的多数人来说，读书只是对其工作和生活的一种补充，他们也只是在需要的时候才采用静心读的方式；再有，也不是所有的书都值得或需要静心去读。所以也不需要总是这样静心的去

读书。

但书总是要读的。

这时的读法可以采取休闲读的方式。

休闲读，顾名思义，重点是休闲，读是其次。

这种读法对书只求其表不求深刻。这看似不妥，但实际上也没什么不好的。

对大多数人来说，读书只是对其工作和生活的一种补充，既然是补充就没有必要时时刻刻都把读书看成是一件多么神圣的事。书，只要你读，总是有益的。

本书选编的笑话故事你可以静心读，读出她的内涵，也可以休闲读，读完一笑了之，让自己的心情放松。

编著者

2008年8月于浙江工商大学

目 次

一	うなぎ	1
二	うらない	5
三	身長ちがい	9
四	けんかする石のきつね	13
五	馬がこわがる	17
六	病気にかかる薬	20
七	焼いてしまった	23
八	柿ぬす人	27
九	まんじゅうこわい	31
十	鍵	35
十一	本殺しと半殺し	39
十二	二階に馬	47
十三	福録神の頭	51
十四	身投げ	55
十五	年のちがうゆうれい	59
十六	ゆうれいのおわん	63
十七	すもう見物	67

十 八	石肥三年……………	71
十 九	仙人……………	76
二 十	出来心……………	80
二十一	オウムの返事……………	85
二十二	法螺吹き童児……………	90
二十三	字を知らない犬……………	95
二十四	金拾い……………	98
二十五	影ぼうし……………	101
二十六	命の値段……………	105
二十七	むこの挨拶……………	110
二十八	貧乏神……………	114
二十九	酒と小便……………	117
三 十	焼き氷……………	121
三十一	雪のはば……………	124
三十二	日はどこから暮れる……………	129
三十三	隠れ蓑笠……………	132
三十四	ついたての虎……………	141
三十五	田之久……………	151
三十六	毒の甕……………	161
三十七	鯉に引導……………	174

— うなぎ



「うむ、いいにおいだ。いつかいつでも、いいにおいだ。」

まいにち、うなぎ屋の前を通る男が、息を大きく吸って
くのみを見て、うなぎ屋の主人が、

「おい、ちょっと^ま待ってくれ。」

と、^{おとこ}男^よを^と呼び止めました。

「なんだい？」

「おまえさんは、いつもうちの^{まえ}前^{とお}を通るたびに、いいにおいだと、かばやきのにおいをかいでゆく。うちも^{しょうばい}商売だから、ただでにおいをかがせるわけにはいかねえ。おまえさん、^{いえ}家^{かえ}へ帰るとそのにおいで^{めし}飯^くを食うんだろう。と、なると、かばやきをかかったも同じだ。これまでの^{いちがつぶん}一^{ろっぴやくもん}月^{ぶん}分、六^{ぶん}百^{ぶん}文はらってもらおうか。」

「そうかい。六百文か。」

^{あんがい}案^{おとこ}外^{おとこ}すなおに、男はふところからさいふを出しました。

「ほらよ、百文、二百文……」

六百文を^{だい}台^{うえ}の上^なに^だ投げ^{おとこ}出^{あつ}すと、男はかき^{さいふ}集^{さいふ}めて財布にし
まってしまいました。

「なんでしまうんだ？」

「おれはにおい。そっちは六百文の^{おと}音^ささ。」

关键词：

息を吸う：吸気

呼びとめる：叫住

かばやき：烤鱼串

においをかぐ：闻味儿，嗅

ふところ：怀，怀抱

さいふを出す：拿出钱包

さいふにしまう：放到钱包里

快乐译站：

鳗鱼

“嗯，真香啊。这里总是香气扑鼻啊！”

一名男子每天，经过这家鳗鱼店门口时，都要大大的吸口气。

有一天，鳗鱼店老板就叫住了他，“喂，请等一下。”

“什么事啊？”

“你总是在通过我们店前时说很香，也就是闻走了烤鱼串的香味。我们是做生意的，烤鱼香不能白白就给你闻走了。你回了家恐怕是就着这香味下饭的吧。既然如此，就等同于买了烤鱼串了。到今天已经一个月了，请付六百文钱吧。”

“哦？六百文钱是吧？”

出人意料，那人老老实实在地从怀里掏出钱包来。

“喂，看好了。一百文、两百文……”

把六百文扔到台上后，他又把钱扒到一处放回钱包里。

“怎么又收回去了？”

“我买的是香味，你收到的是六百文钱的声音啊。”

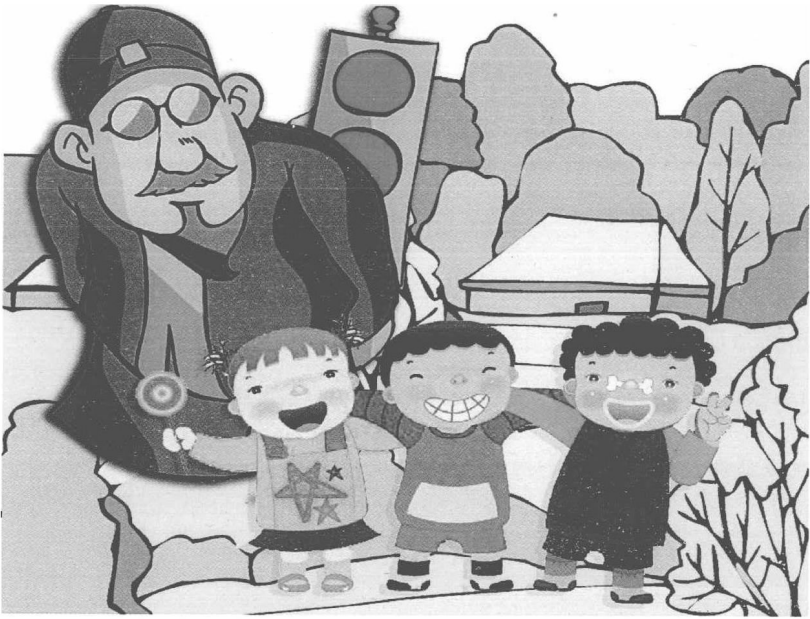
文化采风：

蒲烧鳗鱼

鳗鱼的日本料理里“蒲烧鳗鱼”是最最地道的，把剖净的鳗鱼用酱油、胡椒、味精、糖和酒等腌制后进行烧烤，然后再蒸 30 分钟，再烧烤，最后涂上鳗鱼汁，这样做出来的鳗鱼肉质更加柔软，香味浓郁，给人入口即融化的感觉。将大块的蒲烧鳗鱼盖在米饭上，再浇上鳗鱼汁，就是地道的日本“鳗鱼盖饭”

在日本，任何一家料理店，甚至西餐厅里，都有“鳗鱼盖饭”。更有甚者，日本各地有数不清的“鳗鱼专门店”，即专门吃鳗鱼的饭店。这些饭店门口通常都有个大大的“鳗”字，橱窗里摆着诱人的鳗鱼盖饭。

二 うらない



上野の^{ひろこうじ}広小路の、にぎやかなところに、「御うらない」という
^{かんばん}看板を出した店の前に、子どもたちが集まって、コマをまわし
て遊んでいました。

すると、通りかかった人が、
「これこれ、子ども^{しゅう}衆。このあたりに、うらないが出てるはず
だが、どこだったかな。」
と、たずねました。

子どもたちは、
「うん、うらないの用なら、あれ向こうの、よしずのうらないの方
が、上手だよ。あそこへ行きなさい。」
と、教えてやりました。

さあ、これを聞いたこの店のうらない師は、おこった。
「こりゃ、子どもたち……。店さきをふさいで、遊んでいる上に、
商売のじゃままでしておる。どこの子じゃ、言え言え……。」
と、^{しか}叱りつけますと、子どもたちは笑いながら、
「さあ、どこの子が当ててみな。」

关键词：

よしず： 苇帘子

快乐译站：

占卜

上野，大路繁华地段，在一家挂有“御占卜”牌子的店门前，有几个小孩在玩转陀螺。

一路人过来，问：“喂喂，孩子们，这一带，应该有会占卜的，知道在哪儿吗？”

“嗯，如果你要找算命的，对面的那个苇帘子的占卜师很厉害的。你去那边吧。”

听到他们谈话的这家店里的占卜师这下子不高兴了，

“喂！你们这些小鬼，挡住我的店门不说，还妨碍我的生意。说，你们是谁家的小孩。”

听到的斥责，孩子们哄笑着说：“那，你来猜猜看好啦！”

文化采风：

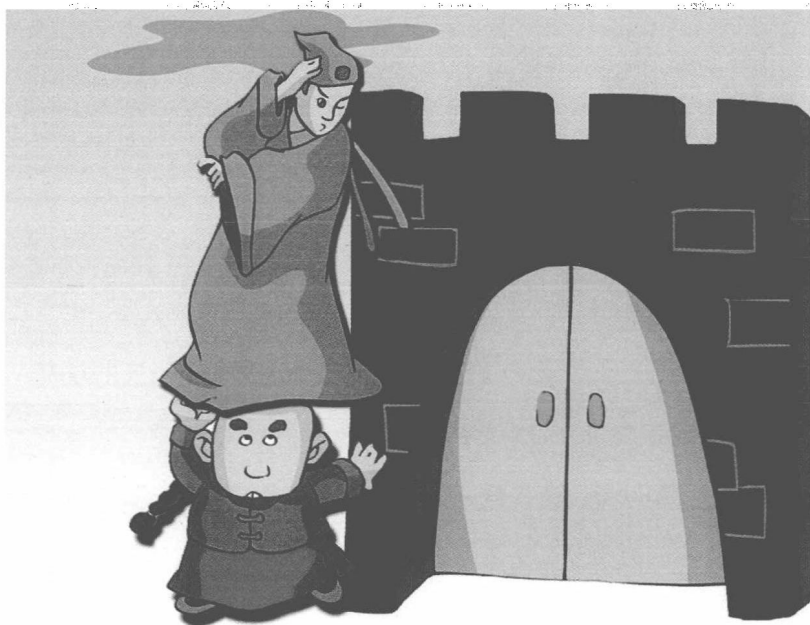
日本的佛教

佛教是公元 6 世纪由中国经朝鲜传入日本的。7 世纪初，由于圣德太子崇尚佛教，使佛教在日本得到了普及。到了镰仓时代，净土宗、禅宗、日莲宗等各佛教宗派相继出现，受到武士和平民的广

泛信仰。现在佛教是日本最大的宗教，其宗派也很多。日本佛教僧侣可以结婚、食肉、喝酒，一般的信徒和普通人生活差不多，没有特别的清规戒律。

佛教与日本人的生活有着千丝万缕的联系。比如，在信奉佛教的家庭，都设有佛龕，用来祭祖先、悼亡人。家人在早上离开家、晚上下班回到家时，都要先到佛龕前双手合十行礼。在日本随处可以看见佛教庙宇，街头巷尾也有不少小的土地神，经常有有献花或祈祷。大多数的日本人死后都按佛教礼仪举行葬礼，并且在墓碑上、牌位上刻上戒名。即使不信教的人在“彼岸”、“花祭り”等与佛教有关的节日时，也要前往寺庙进香或参加祭祀活动。盂兰盆节的时候，几乎家家都要请和尚来家里念经，超渡亡灵。

三 身長ちがい



せ たか おとこ、せ ひく おとこ、たか 高いへいの中をのぞ
こうと、くしん 苦心しています。

「おい、おまえのかたの肩に乗ったら、ちょうどへいのうえかおで
顔が出

るかもしれない。」

と背の^{せ ひく}低い男が背の^{せ たか}高い男に言いました。

「よし、かたに乗れ。」

背の^{せ ひく}低い男は背の^{せ たか}高い男の^{かた}肩にりましたが、まだ、
へいの^{うえ}上へ^{かお}顔が^で出ません。

「どうだ、見えたか？」

「ダメだ。^{あと}後、もう^{すこ}少しなのに^{さんねん}残念だ。」

「^{かんが}考えてみたが、それはあたりまえだな。」

「どうして？」

「おれのほうが背が^{せ たか}高い。^{たか}高いほうが^{うえ}上まで^み見える。そうだろう？だから、おまえの^{かた}肩に^の乗ったほうが^み見えるってわけだ。
^{こんど}今度はおれがおまえの^のかたに乗る。」

そういうわけで、背の低い男の上に高い男が乗りました。

され、へいの中が見えるでしょうか。

关键词：

へい：围墙

苦心：绞脑汁、费心思

顔が出る：伸出头